



シンガーソングライター 中村さだひこ

慶応大学在学中に結成した人気カレッジフォークバンド、「ザ・セインツ」の元リーダー。

日比谷野音フォークフェスティバル、軽井沢フォークフェスティバル、日劇フォークフェスティバル、TBS テレビ「ヤング720」、ニッポン放送「フォークビレッジ」、ラジオ関東（現在のラジオ日本）、フレッシュポップ、ジュニアジャンボリーなど、出演多数。

現在は、「愛の歌」をテーマに、シャンソン、フォーク、スタンダード、オリジナルなど、幅広いジャンルで、シンガーソングライター、ヴォーカリストとして活躍中。

・日仏文化交流 90 周年記念イベント「**第 8 回浜松シャンソンコンクール**」（2014 年 10 月）で、**グランプリ受賞！**

・リーダーライブ「**おとなの Tokyo ライブ**」を、2009 年の第 1 回以来、定期開催。

・ラジオ番組「**中村さだひこ おとなの Tokyo ライブ**」、2014 年 10 月スタート！
（ラジオ日本（AM1422kHz）毎週日曜日 21:00～）

・生ギター弾き語り「**中村さだひこのスタジオライブ**」放送中
（ラジオ日本 AM1422 kHz 毎月最終日曜日 21:00pm～21:15pm）

・2014 年 10 月、CD アルバム「**中村さだひこ愛の歌〜シチリアにて〜**」をリリース。

収録曲（全 10 曲）：

「そよ風」、「Besame Mucho」、「All of me」、「La vie en rose」、「The shadow of your smile」、
「幸せだったころ」、「カレンダー」、「Fly me to the moon」、「帰り来ぬ青春」、「Reste」

・2016 年 3 月、CD アルバム「**中村さだひこ Mellow & Tender**」をリリース。

収録曲（全 10 曲）：

「再会」、「セ・シ・ボン」、「風」、「空とぶ汽車」、「枯葉」、「愛の讃歌」、「キサス・キサス・キサス」、
「She」、「And I love you so」、「Dance me to the end of love」



ジャズピアニスト 大橋 祐子

東京都八王子市出身

幼少の頃よりクラシックピアノ、エレクトーンに親しみ、学校卒業後より JAZZ に目覚める。JAZZ ピアノを稲森康利、寺下誠、小嶋貴文、各氏に師事。

2005 年 New York、2006 年 Sweden を訪れセッションに参加し、現地の音楽に触れる。現在、自己の trio を中心に、多数のセッションやサポートに参加、JAZZ、POPS、FUNK 等、ジャンルにとらわれない演奏活動をしている。

2009 年 10 月、CS テレ朝チャンネル「源流 JAZZ」に、リーダーを務める女子バンド「4℃」が取り上げられる。

- ・ 2010 年 7 月 21 日、リーダーアルバム「PRELUDE TO A KISS」をリリース
- ・ 2012 年 3 月 21 日、2nd アルバム「BUENOS AIRES 1952」をリリース
- ・ 2013 年 12 月 25 日、3rd アルバム「TWO CHORDS」をリリース
- ・ 2016 年 12 月、4 枚目のアルバムをリリース予定。



バイオリニスト&作曲家 依田 彩

フィドル、Pops、ラテン、Jazz、クラシックなど多様なジャンルを巧みに取り入れるバイオリニスト。オリジナルは、言葉（歌詞）がなくても情景が見えるわかりやすい曲をモットーとしている。早弾きは秀逸であるが、バラードは「まるで歌を聴いているかのようなバイオリン」である。

国立音楽大学卒業。カナダ政府主催 Victoria 国際音楽祭マスターコースでタラス=ガボラに師事。レイ・チャールズ、X-JAPANなどを始めとする、国内外アーティストと多数共演。2001年 NHK スタジオパークにおいてソロ・アーティストとしてデビュー。

発売アルバム多数：

「ミストラル」、「Floracion(フロラシオン)」、「graphix」、「SCAT CAT」、「Fiddle Magic」、「依田彩 BEST」など。

テレビ、ラジオ番組にも多数出演。

作曲活動にも力を入れ「歌詞がなくても情景の見えるメロディ」をモットーとしている。また、ライブ・コンサート活動を全国で展開。情熱的なライブパフォーマンスは好評を博している。

TBS ドラマ「輪舞曲(ロンド)」ではチェ・ジウのバイオリンの指導を行うなど、多岐にわたり活動中。



ベース 若林 美佐

小学生の頃よりパーカッションを始める。

大学を卒業するまでブラスバンド、市民楽団、ロックバンドなどで多くの演奏の機会を得る。多くの音楽に触れるうち、徐々にジャズにも興味を持ち始める。

一旦は就職するも、勤めていた会社を退職後にアコースティックベースを始め、同時にプロとして活動を開始。

ジャズベースを中村新太郎氏に、クラシック奏法を斎藤輝彦氏に師事。

2003年には、ニューヨークに渡米。

バスター・ウィリアムス氏に師事。滞在中は、アメリカ政府の主催する9.11復興プログラムの一環として行われた学校、公共施設でのコンサートに参加。

また、マンハッタンのジャズクラブにて、ジャムセッションのホストベースプレーヤーとして様々なミュージシャンとセッションを重ねる。

1996年～2005年まで関西で演奏活動、その後上京。現在は関東を拠点とし、全国で演奏活動を行っている。女性ながら、ベースらしいアコースティックな音色と力強いビートで高い評価を得ている。



ドラム 高橋延吉

大阪出身、大阪在住。

16歳でドラムを始め、学生の時ジャズに
出会う、

同志社大学卒業後、ミュージックスクールの
講師となる。

繊細でダイナミクスある演奏、常に真摯に
音楽を追求するまじめなミュージシャン。

今までに、数々のジャズのセッションを
こなしている。

魂から溢れ出るその熱い演奏は圧倒的である。

彼のドラムソロが熱く会場を包み込む。
様々のミュージシャンと活動を共にし、
主な共演者は、綾戸智絵、越智順子、
KAJA、チャカ（安則真実）、MALTA 等多彩。